

中国からの教育旅行団の来市について

中国・小主人報（ショウシュジンポウ）新聞学校の小学生約 200 人が、日本への修学旅行の一環として、来市します。

中国・小主人報新聞学校の小学生が、日本の社会や文化を取材し、研修するために、富士山静岡空港を利用して、本市を訪問します。

市では、地元小学生との交流会などを開催し、相互の理解と親善を深め、友好交流の拡大、子どもたちの国際感覚の醸成、富士山静岡空港の利活用などを図ります。

記

1 来市者 中国・小主人報新聞学校の小学生（4～6年）約 200 名

2 日時等

来市日の交流時間は、午前 9 時～午前 11 時のうち、学校等の対応可能な時間。

人数	入国日	来市（帰国）日	市長等訪問	学校交流等
第 1 班（43 人）	7 月 5 日（月）	7 月 9 日（金）	教育長	勝間田小学校
第 2 班（43 人）	7 月 7 日（水）	7 月 11 日（日）	市長	未定
第 3 班（43 人）	7 月 12 日（月）	7 月 16 日（金）	未定	川崎小学校
第 4 班（47 人）	7 月 14 日（水）	7 月 18 日（日）	市長	市長お茶教室
第 5 班（38 人）	7 月 19 日（月）	7 月 23 日（金）	市長	相良小学校

来市日の前日は牧之原市に宿泊。

3 小主人報新聞学校の概要

「小主人報」は 1983 年 7 月創刊。15 歳以下の青少年・児童を対象にした中国最大の子供新聞。

小主人報新聞学校は、小主人報社の下部組織として、子供たちが新聞作り（取材、撮影、編集を行う）を通して様々な社会事象を学ぶ教育機関。通常の学校と異なり、土・日に活動を行う。

現在、都市部を中心に全国で 130 団体余りが展開されており、今後 5 年以内に 300 団体までに拡大する計画がある。新聞学校一団体当たりの生徒数は約 400 人であるため、近い将来その数は 10 万人を越える見込みである。